

第105回二科福岡巡回展



▲ 会場外観



▲ 会場入口

2022年3月15日（火）～3月21日（日・祝）福岡県立美術館（1階・3階）にて福岡巡回展を開催しました。4部門（絵画・彫刻・デザイン・写真）全国巡回作品と地元入選作品合わせて約360点を展示し、コロナ禍の中、2,637の方に御来場いただきました。二科福岡支部、二科山口支部、二科大分支部、二科佐賀支部、二科長崎支部、二科会デザイン部福岡支部、二科会写真部福岡支部の協力のもと、無事終了することができました。

福岡巡回展関係分の受賞者は4人、二点入選者が7人。初入選者は4人、今後に繋がる内容となりました。今回から各部の構成が変わりデザイン部・写真部はゆとりのある展示空間となり、彫刻部は本展での展示風景を掲示するだけでなく、今回はじめてDVDによる動画での紹介も行い観覧者の眼を楽しませました。

当巡回展のみの西日本新聞社賞を選考し表彰を行っていますが、今回絵画部は江島良子（朝倉郡）、白水美智子（久留米市）、高橋廣行（佐賀市）、デザイン部は、BECT PARRA ESTEFANIA（福岡市）、写真部は、伊藤有幸（福岡市）の5氏が選出されました。



▲ ギャラリートーク

例年開催のギャラリートークは、3/15（火）11:00から、3/21（月・祝）13:30から、会員・会友等により解説を行いました。デザイン部は3/15には、河地知木理事長にご参加していただき開催致しました。

また、熊本の木戸征郎理事、神奈川の須藤愛子評議員、広島の高松良幸支部長の突然のご来福に感激、出品者への貴重なご指導を賜りました。

入場者へのプレゼント抽選会では出品作家制作の色紙プラス、協賛者からご提供頂いた豪華フェリーでの旅行（神戸/大阪・泉大津、釜山）、リゾートホテルの宿泊券等をプレゼントしました。

有明新報に、牟田志津子（大牟田市）、塚本和美（大牟田市）、鷹尾重徳（柳川市）の作品が掲載され、またテレビ西日本のニュース等でも展覧会の様子が紹介され、会友賞を受賞した猪立山三鈴（福岡市）の作品紹介・インタビュー等も紹介されました。

4部門会場展示に関するコラム



《絵画部》

会場の制約により、巡回作品を56点にしぼって展示しました。天井の高い1階に大きな作品と彫刻を並べ、3階は、今回から1・2号室のみの展示となりましたが、室外のスペースを活用し、前回と変わらない展示数を確保しました。



《彫刻部》

1階の彫刻展示室は柔らかな自然光が入り、天井が高く、時刻によって光線が微妙に変化するので、楽しめる展示となりました。今回から本展での彫刻の展示を撮影した動画を会場で放映することによって、彫刻のだいご味を伝えることができたのではないかと思います。



《デザイン部》

3階の展示室の中で、一つだけ自立した4号室すべてを使った展示で、大変見やすい構成になりました。部屋の入口に受付のような机を設けたので、絵画→写真を見た後の観覧者の誘導がスムーズに行われたように感じます。



《写真部》

前回の会場の倍の面積となり、ゆとりのある展示が実現しました。壁面の設置を動線を意識し通常の定位置から動かした事で、観覧者の流れにゆとりができ、スムーズで見やすい構成になったのではないかと思います。